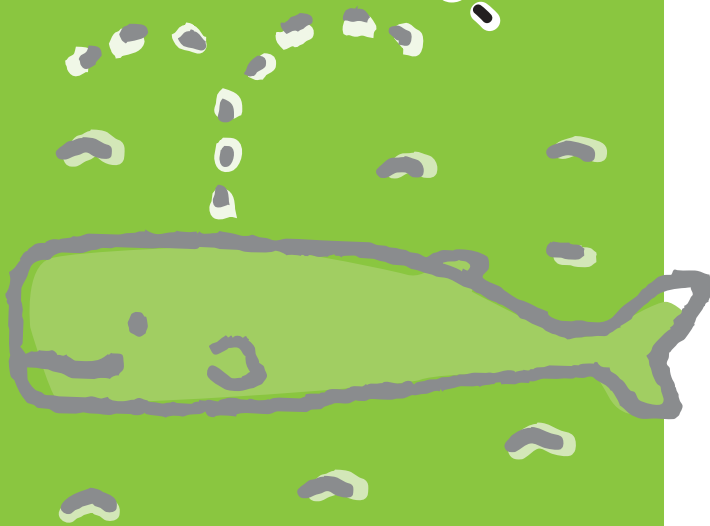


自分が気づいていない、
自分の知能の
バランスを
見つけてみませんか？



自分が気づいていない、 自分の知能のバランスを 見つけてみませんか？

自分がふだん何気なくとっている行動、容易にできること。

人はできるのに自分ではうまくいかないこと。なぜ、人によってこのような違いがあるのでしょうか。

Howard Gardner氏は自ら唱えるMI理論の中で、

「誰でも8つの知能をすべて備えていて、しかも、その知能のバランスは、人によって異なる」と主張しています。

この理論によれば得意・不得意は、自分の8つの知能のバランスによってつくられるといえるのです。

こんな人はいませんか？

曲を1～2度聴いただけで正確に口ずさめる人
サビの部分は歌える人
うまく再現できない人



いつでも整理整頓をする人
気がなったときに整理整頓をする人
片づけることが苦手な人
散らかっていることに気がつかない人



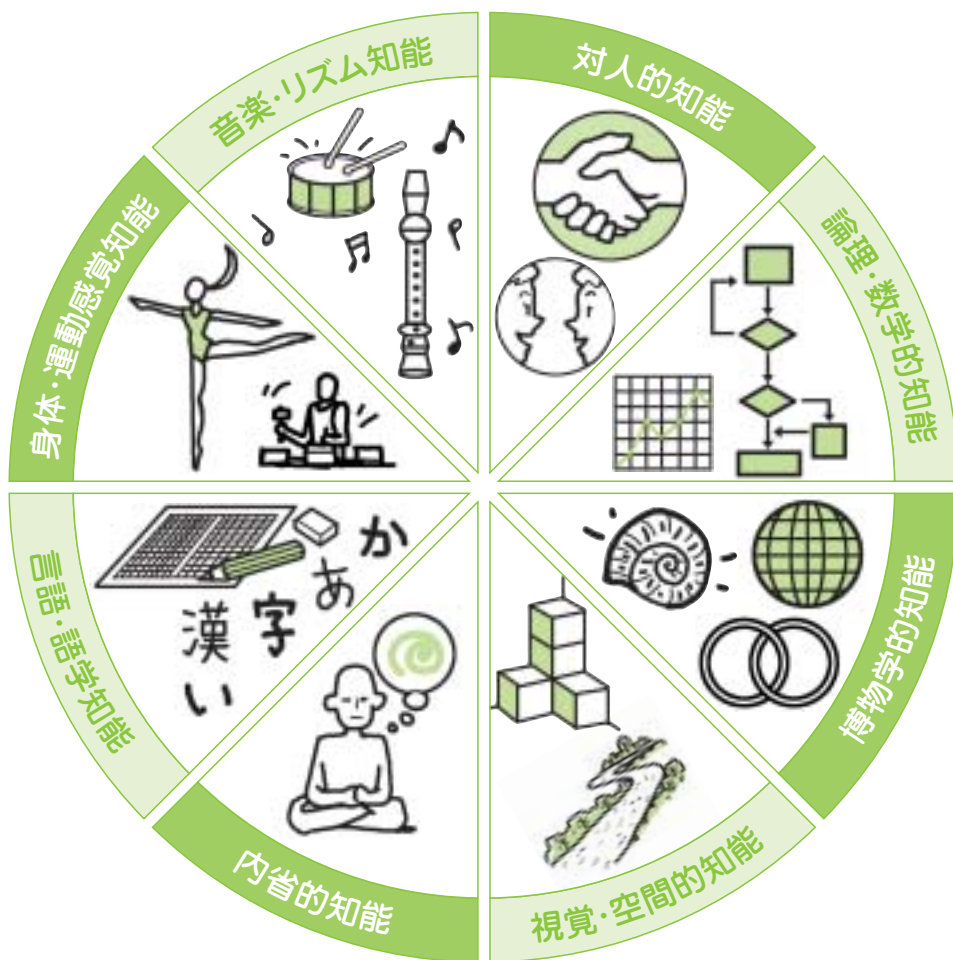
初めて行く場所でも迷わない人
時間はかかるけれどもたどりつける人
迷ってしまう人

思い当たる人はいましたか？

8つの知能のバランスは、人によって異なります。そして知能のバランスが異なる理由の1つに、いままでの環境や体験の影響を受けていることがあげられています。ということは、今後の環境や経験によって、これからも知能のバランスが変化する可能性があるということです。

本に囲まれて育ったとか、音楽家の両親のもとで育ったなどということも、現在の知能のバランスと関係があります。一方、絵画教室に通いはじめたり、ダンススクールに通いはじめるなど、新たな環境に飛び込むことで活性化する知能もあるのです。

MI理論が定める “8つの知能”



あなたのMIを知るための 質問項目にお答えください

自分が気づいていない、 自分の知能のバランスを 見つけてみませんか？

インベントリーの進め方

①それぞれの項目について、下の中からいずれかを選び、その数字を記入してください。

- 1 → まったくあてはまらない
- 2 → ほとんどあてはまらない
- 3 → どちらかといえばあてはまらない
- 4 → どちらかといえばあてはまる
- 5 → かなりあてはまる
- 6 → ぴったりあてはまる

②選んだ回答の数字を、回答欄に書き込みます。

③回答し終わったら、アルファベットごとに数字を
足し、下の欄に合計を書きます。

④③の8つの合計数を、レーダーチャート（p11
～p12）に記入します。

さあ、やってみましょう！

※このインベントリーは、Learning Disabilities Resource
Community（LDRC）を参考に作成したものです。

A

- ラジオやCDなどをよくききます
- 歩いているときに、CMソングやその他の曲が
頭に浮かんでいることにふっと気づきます
- 曲を1～2度きいただけで、正確に口ずさむこ
とができます

Aの合計:

B

- 人からよく相談されるタイプです
- 水泳やジョギングのように一人で運動するより
も、バレーボールや野球のような団体競技をす
るほうが好きです
- 仕事や学校や地域のボランティア活動など、社
会との関わりをもっていたいと思います

Bの合計:

C

- 暗算が得意です
- 論理的な思考力が必要なゲームをすることが好きです
- 科学の進歩に興味があります

Cの合計:

D

- 物事を整理したり組み立てたりすることが好きです
- 魚釣りやガーデニングや家庭菜園や料理などをすると楽しく感じられます
- 天気予報をよくチェックします

Dの合計:

E

- 実際に見なくても、そのものをイメージすることができます
- ものを記録するとき、カメラやビデオをよく使います
- 初めて行った場所でも迷子になりません

Eの合計:

F

- 挫折しても立ち直りが早いです
- 自分の長所と短所を知っています
- 休みの日は、人が集まるにぎやかなところにいるより、あまり人がいないところに一人であるほうが好きです

Fの合計:

G

テレビよりもラジオのほうが、より多くの情報が得られると思います

語彙が豊富で、使った言葉についてよく「意味を教えてくれ」と言われます

ドライブ中は景色よりも看板の文字に注意を払います

Gの合計:

H

スポーツをする習慣があります

彫刻、木工細工、模型作り、手芸、編物など手先を使うことが好きです

マニュアルを見たり読んだりするよりも、実際にやってみることが必要です

Hの合計:

合計点記入欄

Aの合計: _____

Bの合計: _____

Cの合計: _____

Dの合計: _____

Eの合計: _____

Fの合計: _____

Gの合計: _____

Hの合計: _____

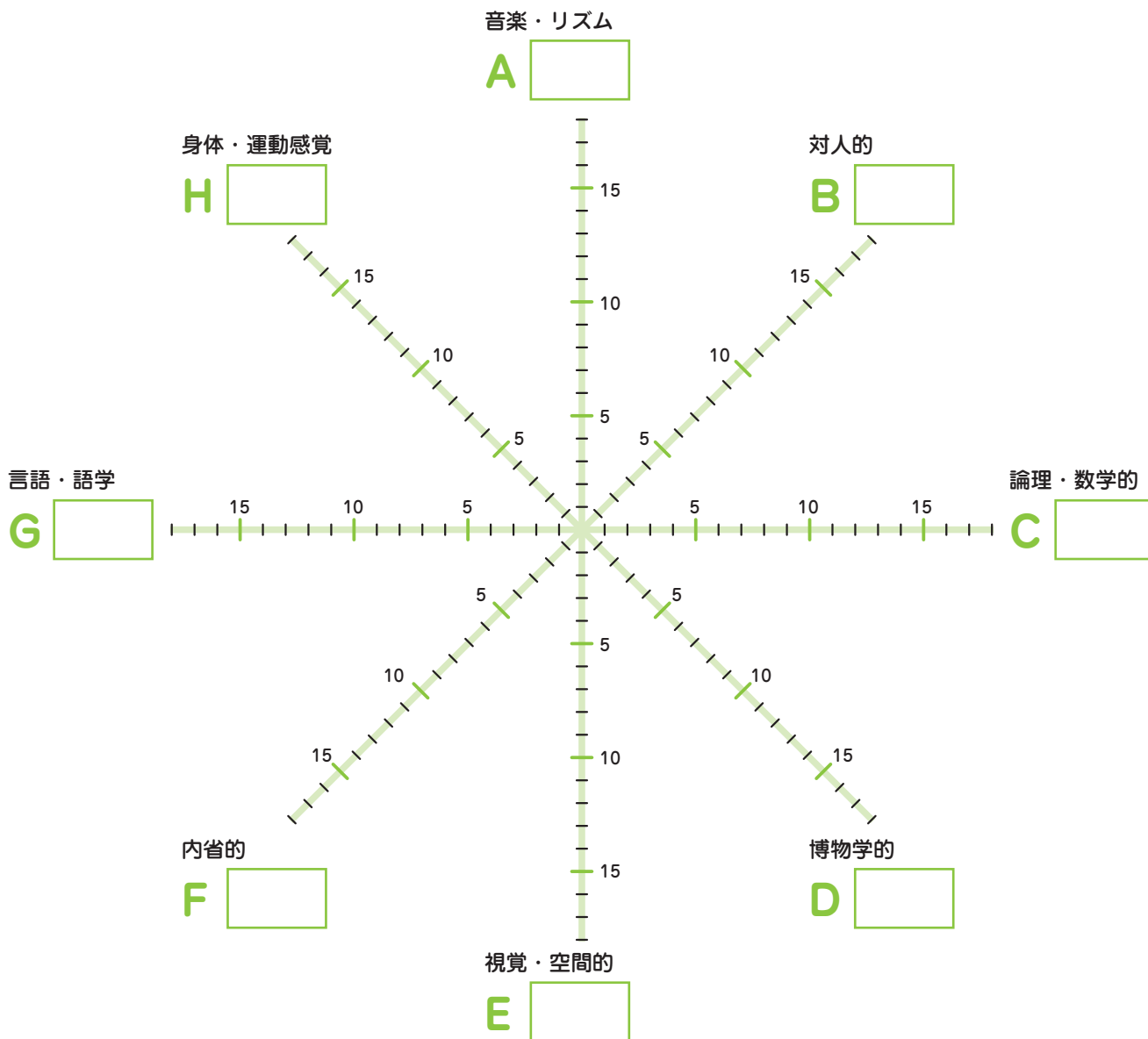


次ページのレーダーチャートに、それぞれの合計数字を記入してください。

インベントリー結果

現在使っていると思われるマルチプル インテリジェンスの型

(それぞれの知能の得点に印をつけて線で結んでください)



インベントリーを終えて……

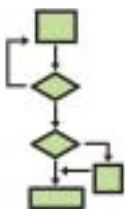
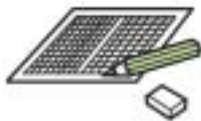
インベントリーの結果をレーダーチャートへ記入してみて、いかがでしたか？
自分の8つの知能のバランスを見て、どのようなことを感じましたか？
8つの知能のうち、合計の数値がもっとも高かった知能はどれでしたか？

この知能のバランスのチャートの面積(大きさ)は、他人と比べることはできません。

各項目に回答するとき、回答の1～6を選ぶ基準は、人によって違います。たとえば、人によって「3」を選ぶ基準だって違うのですから。

自分自身の、8つの知能のバランスに注目し、現時点で、8つの知能のうち、どの知能が働きやすいのかに目を向けましょう。

日ごろの行動と結びつくものがあるのではないのでしょうか。



現在の知能のバランスは、いままでの環境や体験に基づいています。したがって、今後、新たな体験をしたり環境が変わったりしたときに、後日改めてインベントリーをしてみると、バランスが変わることもあります。

時々ご自分の知能のバランスを確認してみたいかがでしょうか。

これまでお伝えしてきたこと。
これからもお伝えしていくこと。

日能研では、子どもたちにとって身近な事柄をモチーフとして、「未来に必要なチカラを育てるために学び進んでいこう」というメッセージをお伝えしています。感動は、子どもたちの学びの世界を大きく広げていきます。日能研が大切にしたい、子どもたちの未来への道。どうぞ、ご覧ください。



お問い合わせはフリーダイヤルで。

このマークは、日能研の環境への取り組みをお知らせする目印です。

☎ 0120-366640 受付時間 11:00~18:00
(日曜・祝日は10:00~15:00)

日能研 Home Page

www.nichinoken.co.jp